839
3
26

編纂本朝尊卑分脈圖脫漏 中

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

曽山文庫

堀光信韓氏寄贈

第三

京極攝政師實公二男左大臣家忠公同三男大納言忠教卿等孫　花山院　大炊御門　難波等流

一花山院流内

●京極攝政師實公二男左大臣家忠公息男四人

∴一男權中納言忠宗卿流・花山院當流正嫡也

其外各無子孫仍略之　見系圖

●權中納言忠宗卿息男三人内

一男忠光　無子孫

∴二男太政大臣忠雅公流・花山院　當流正嫡也

三男内大臣忠親公流　●鶴中山又號堀河子孫相續

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

・太政大臣忠雅公息男四人内
∴一男左大臣兼雅公流・花山院 當流正嫡也
・其外無子孫畧之 見系圖
左大臣兼雅公息男二人内
∴一男右大臣忠経公流・花山院當流正嫡也
二男中納言家経卿流・
・右大臣忠経公息男五人内
∴三男右大臣定雅公流・五辻烏丸等両流但子孫相續
五男内大臣師経公流・花山院當流正嫡也
自餘兄弟無子孫 見系圖
・右大臣定雅公息男二人内
∴一男太政大臣通雅公流・花山院當流正嫡也
二男大納言長雅卿流・歸堀河 又歸花山院子孫相續 今斷絶歟
・左大臣兼雅公二男中納言家経卿息男八人内
三男右大臣定雅公流・歸鷹司 子孫相續
四男正三位雅継卿流・號五辻子孫相續
五男信家流・歸烏丸子孫相續
自餘兄弟無子孫畧之見系圖
以上
一大炊御門流内
京極攝政師實公三男大納言按察使経實卿息男七人内
一三男淺官無子孫仍畧之 見系圖
四男權中納言経定卿流・號九条 有子孫
∴七男左大臣経定公流・大炊御門流祖 又歸中御門當流正嫡也

自餘息男無子孫　見系圖

・左大臣經宗公息男一人

∴一男太政大臣賴實公流・大炊御門又號六條當流正嫡也

・太政大臣賴實公息男三人內

∴一男右大臣師經公・大炊御門當流正嫡也

二男家宗　無子孫

三男中納言賴平卿流・鵰司子孫相續

○此外當流內

・大納言經實卿四男權中納言經定卿男三人有之

一男參議賴定卿流・歸堀河　有子孫但今相續

二男定雅　無子孫

三男左中將成定流・歸九條又號三條又堀河　子孫相續但今當朝無之

以上

一難波流內

・京極攝政師實公五男大納言忠教卿息男九人內

三男帥中納言忠基卿流　家稱歸不分明有子孫但今無之

∴七男從三位刑部卿賴輔流・難波流子孫相續見系圖

自餘息男負外無子孫畧之　見系圖

刑部卿賴輔嫡孫賴經息男六人內

∴一男從三位刑部卿宗長卿流・難波子孫相續

四男參議右兵衛督雅經卿流・歸飛鳥井子孫相續

自餘兄弟負外　見系圖

此外京極攝政息二人有之

大納言能實卿并舍弟宮内卿忠長流共以無子孫

此両人見系圖

以上三篇終

第三篇　系譜畧圖

後二條殿

師實
從一位
攝政太政大臣
號京極殿

師通
正二位
関白内大臣
氏長者

家忠
右大將
左大臣正二
號花山院

忠宗
從二
權中納言

忠雅
右大將
太政大臣從一

兼雅
左大將
左大臣從一

花山院流

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

中山流

- 忠親 正二 内大臣
  - 兼宗 正二 権大納言
    - 忠定 従二 参議
      - 基雅 従三
        - 家親 正二 参議
          - 定宗 従二 権中納言
- 親雅 従二 権中納言
  - 滿親

- 忠經 正二 右大将 右大臣
  - 定雅 正二 右大将 右大臣 号鷹司
    - 通雅 従一 右大将 太政大臣
      - 家教 正二 右大将 権大納言
        - 家定 従一 右大将 右大臣
          - 長定 正三 右大将 内大臣
            - 兼定 正二 右大将 権大納言
      - 定教 権大納言 正二
    - 長雅 正二 大納言
      - 家雅 正二 権大納言
        - 冬雅 従三
          - 宗雅 従二 権中納言
            - 通定 権大納言
              - 忠定 正二 大納言 本忠俊

- 師繼 正二 内大臣 歸堀河
  - 賴兼 参議
    - 師藤 正二 大納言
      - 忠藤 従二
  - 師信 従一 内大臣
    - 師賢 正二 権大納言
      - 家賢 権中納言 従二
      - 信賢 左中将

- 家經 五辻 正二 中納言
  - 雅繼 正三
    - 忠繼 参議 歸五辻
      - 宗氏 従二 右兵衛督
        - 忠氏 従二
          - 氏繼
          - 宗教
  - 宣經

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

烏丸

敦家

信家
為祖父家經子
本名忠氏
従三

兼賴
従三

長忠
従三

長賴
従四上
少納言

定賴
中將

定氏
中將

兼氏

忠朝
従三
刑部卿

長基
従三
宮内卿

長朝
左中將

朝雅

宗親
従二
左兵衛督

親氏
従二
右兵督

兼親

經氏
左中將
參議

俊雅
參議

俊氏
正二
參議

俊量
出家

大炊御門流

經實
正二
權大納言

經宗
従一
左大將
左大臣

賴實
従一
右大將
太政大臣

師經
正二
右大臣

家嗣
従一
右大將
内大臣

冬忠
従二
左大將
内大臣

信嗣
従一
右大將
太政大臣

良宗
正二
大納言

冬氏
従一
左大將
内大臣

冬信
従一
左大將
内大臣

氏忠
正二
大納言

歸中御門
歸六條
歸大炊御門

歸堀河

經定
正三
權中納言

賴定
正三位
參議

賴房
従三

賴行
従五下

賴俊
正四位
左中將

經顯

經有

行忠
土佐守従五下

號三条
今号九条

成定
正四下
左中將

基定
従三
修理大夫

能定
左中將

長顯
正四下
左中將

教顯
正三

爲顯
侯南朝
左中將

伊成
従三

伊基
従三

伊顯

伊經

花山三

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

難波流

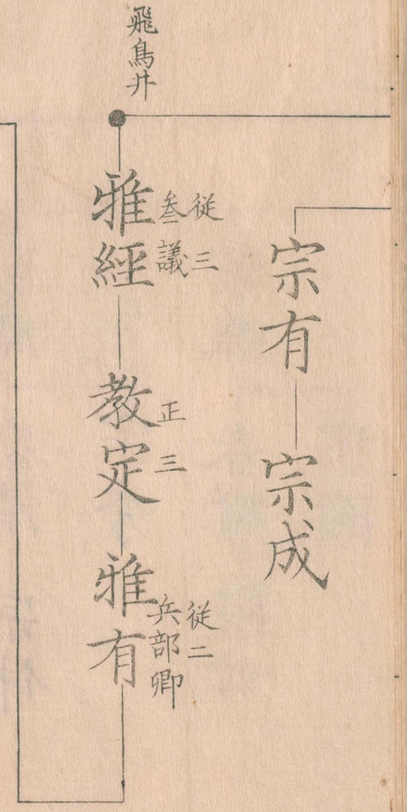
- 忠教 正二 民部卿 権大納言
  - 頼輔 従二 刑部卿
    - 頼経 従四下 刑部卿
      - 宗長 従三 刑部卿 難波
        - 宗教 刑部卿
          - 教継 従四下 左少将
            - 宗継 正四下 刑部卿
      - 宗緒 従三 左中将
        - 宗清 従三 左中将
          - 宗仲 従四下 左中将
        - 宗秀
      - 宗春 従三 左中将
        - 春緒
          - 宗世
        - 宗國
  - 忠基 正二 権中納言
    - 教宗 従四下 少納言
      - 基保 右馬助

鵄鷹司

- 頼平 正二 中納言
  - 頼基 従三
    - 藤輔
      - 忠頼 左中将
        - 宗春
  - 伊平 正二 権中納言
    - 伊頼 正二 権大納言
      - 宗嗣 正二 中納言
        - 宗平 参議
  - 宗實 正二 権大納言
    - 冬宗 正二 権大納言
      - 宗氏
  - 家信

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

以上三篇系譜畧圖 終



第三 京極攝政師實公二男家忠公舍弟經實忠教等卿孫

師實

輦車隨身兵仗
左近大將准三后
太政大臣左大臣
攝政關白從一位

氏長者

母因幡守種成女贈從二位藤祇子

康和三年正月廿日出家法名蓮華覺改寂覺
同年二月十三日薨去春秋六十
葬京極殿又後宇治

京極攝政師實公二男

牛車
左兵衛督中宮大夫
右大將皇后宮大夫
左大臣 從一位

忠宗卿傳

永長二正五叙爵
同四年九廿五從五上
嘉承元十二廿七左少將
天永元十一廿正五下
元永二十一正四下

康和二七廿四侍從
長治元正十四昇殿
同二年十二八補藏人
天永三正七從四下
同年十廿七左中將

花山 五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

家忠

母美濃守源頼國女
保延二五十二出家
同年同月十四薨七十五
號花山院左大臣

家忠公傳
延久四十二廿九従五下
兼保元二廿六任侍従
同二年三十三昇殿
同年六十三右中将
同三年正五従五上
同年十二廿一正五下
同四年正廿九従四下
同年三廿七左中将
承暦二正七従四上
同年二廿八聴禁色
同四年四廿八正四下
同年八廿八従三位
永保元正五正三位
同二年正廿一参議
同三年正廿六権中納言
同年二中宮権太夫
同年三八禁色
同四年正廿八補新帝頭
崇徳院蹟祚
同年九六中宮権亮
同年十二五従三位
同年同月廿四中宮権
保安三十二七蔵人頭
大治五十五参議
天承元十二廿二権中納言
長承二九一薨四十七

忠宗

母正四位下行播磨守定綱女

従三位
中宮権大夫
権中納言

忠能

母同忠宗卿

散位従五下

忠兼

母家女房
散位攝致綱女
忠宗卿乳母

中務大輔
右少将従四下

忠房

母土佐守能仲女

散位従五下

家實

民部大輔
侍従従四下

或家實光家
本名同人云々

光家

母

民部大輔

號蚊子侍従
為祖父子
長寛二十一卒

家綱

母

散位従五下

成家

母

尾張守
中務少輔

家基

母筑前守知家女

従五下
刑部少輔

家光

母大納言源隆國女

正四下
伯耆守

實者修理大夫橘俊綱子

應徳元六十五従二位
同三年十廿左衛門督
寛治二正十九正二位
同五年正廿八権大納言
康和五十二廿一右大将
嘉承二十五皇后宮太夫
永久二四廿八薨正
保安三十二左大将
同三年十二十七右大臣左大将如元
天承元十二廿薨左大臣同日従一位
同廿四大将如元
保延元二八辞大将以男
中務大輔忠兼申任左少将
同二年四十九午車
同年五十二出家

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

東
母 阿闍梨 尋覺

女子
母同家基
右京大夫信浦室
信隆親信等母

藏 散位従五下
母 知家

母 中務少輔 伊綱

散位従五下
忠光
母大納言能實女

無雅
久安七正六叙爵
同二年正廿四右少將
永暦元月日禁色
應保元正五正五下
同年九十五左中將
永万元正廿三藏人頭
同年七廿七従三位
仁安三二十七權中納言
同年十二十三右兵衛督
承安四正五従二位

無雅公傳
保元九十七侍従
同三年正六従五上
同年十三中宮權亮
同年八廿五従四下
長寛元正五従四上
同年七廿二正四下
同二年十二十四正三位
同年三廿三勅授帶劔
嘉應二年正五右兵門督
治承二十二十五春宮權大夫

花山院
又栗田口

忠雅
母参議家保卿女
元暦二二十五出家法名理智覺六十一
建久四八廿六薨六十九
號花山院入道太政大臣

撿別當
春宮權亮義濃守
左衛門督右兵衛督
内大臣 右大將
太政大臣従一位

忠雅公傳
大治四正七叙爵
保延元正廿七右少將
同年六五無義濃守
長承二正十六昇殿
同年四七蒋左少將
同三年正七従五上

無雅
母中納言家成卿女
正治二七十四出家 同八薨五十二
號後花山院左大臣

左衛門督 右兵衛督
左大將 春宮大夫
左大臣 従一位

同三年正五正三位
養和二二八權大納言
同三年十二廿九辞退
同四年十十四右大將
同六年七十七蒋右大臣
建久九正五従一位
同十年六廿二辞退

同月十九無正夫
壽永二廿八被止出仕依義仲乱也
文治三十一四還任大納言
同五年七十任内大臣
同年十二十四辞大將
同年十二十四左大臣

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

忠頼
公卿補任云建暦二年
十二月十九日薨
家長
補任云文永十一年七
月二日薨年廿二

同年四三正五下　同年廿二禁色
同年十二七従四下　同五年正四従四上
同月廿四左中将　同年五辞兼濃守
同年八七春宮權亮　同月廿七正四下
同七年十二正四上　同月六補蔵人頭
康治元正五従三位　久安元十七参議
同四年八廿二正三位　同年十二權中納言
同六年八廿右兵衛督仁平二正廿八摂左兵衛督
久寿三廿五使別當　保元元九十三摂正
同年十左衛門督　平治元正二従二位
永暦元四權大納言　應保元正廿正二位
同年九十三摂正　永万二八廿七右大将
仁安三十二内大臣　同日大将如元
同三年八十太政大臣　同日従一位四十四
嘉應二六六上表　元暦二十五出家

行雅
母忠宗卿女
養子　正五下
皇太后宮權亮
實父左兵衛督公行

行忠
母
正五下

女子
堀川局
松殿女房
忠房卿母

隆雅
母
信濃守

雅圓
母

兼經
母
興
法眼
正五下
右少将

忠恵
母
興
母同兼雅卿

良雅
母
興

女子
母

女子
母

女子
母

松殿攝政北政所
師家公母

女子
母
従三位忠子

右大臣源通親公室
通宗卿母

忠輔
母

忠頼
母同定雅公
従三位
右中将

忠尊
母右馬助宗保女
寺
僧正

家長
母中納言國通女
従二位
中納言

淨經
母
寺
大僧正

經定
母

經家
母

花山八

花山院

常樂記云明徳四年癸酉三月十三日南方花山院内大臣四十五於嵯峨他界 後光厳院 禅師父

良定
補任云母故前権大納言藤原為方卿女

忠經
正二位 右大将 右大臣
母太政大臣平清盛公女
建保元十二廿二出家 寛喜元八五薨 五十七 號花山院 右大臣

定雅
正二位 右大将 右大臣
母中納言藤能保女
康元々三廿七出家 永仁二三廿七薨 年七十七 號粟田口入道 右大臣又号後花山院

經雅
正五下 左少将
母同師継

通雅
従一位 右大将 右大臣 太政大臣
母権中納言藤定高女
建治二四廿出家 空理同年五四薨 四十五 號後花山院 太政大臣

家教
正二位 右大将 春宮大夫 権大納言
母正二位権大納言源通方卿女
永仁九八廿一出家 同廿六薨 年廿七

家定
従一位 右大将 右大臣
母従二位藤雅平女
元亨三年八廿出家 法名理圓 號金光院入道 右大臣

長定
正二位 右大将 内大臣
母権大納言藤長雅卿女
観應二廿六任内大臣 同年九月十九出家 法名静圓 入禅門 叢林静圓 號護法院入道内大臣

通定
従四下 侍従
母

雲雅
山 大僧正證誠 法務檀越
母

良定
左中将 従三位
母正和元七十二薨

尊淨
母

圓雅
寺 僧正 龍華院

尊無
寺 僧正 三井長吏 南松院 又吉田
母

定伊
山
母

經雲

女子
關白藤經忠公北政所 經家卿女

花山 九

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

兼定
補任云永和四年十月
廿日薨年四十一

母 兼定 正二位 左大将 権大納言

母 定尊 寺 権僧正
三井長吏
龍華院
又花頂

母 基定 出家
右大臣従一位 右大将 権大納言

母 通定 前権大納言 藤原光経卿女
応永二年六月出家法名信圓
同七年四月廿四薨
號如住院入道右大臣

母 忠俊 改一定
右大将 正二位 権大納言
応永廿三年十五薨年三十八

権中納言

母 持忠
永享九右大将
嘉吉九内大臣左大将如元
文安五出家
歸鳳栖院文正二年正七薨年卒二
同六年月日贈太政大臣

母 定嗣
亨徳元十二廿九権大納言同六廿八辞
大納言同三年月日出家

母 政長 本名忠凞
文明十七三十内大臣廿五歳右大将如元
長享元八月右大臣廿七歳明應二四晦左大臣四三歳
永正十五年九月廿八太政大臣六十八歳同年八月八日
聽葦車同十一日聽牛車大永五三十五出家歸後
鳳栖院同十七日薨七十五歳

母 忠輔
永正十五三朔権大納言
大永四十二廿九右大将
天文十一正廿薨年六十

花山十

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

家輔
公卿傳云母内大臣藤
原實隆公女從三位俔子

實久
補任云元和二年十月廿
六日薨

母 家輔 弘治三廿三日内大臣同九二右大臣實九條
尚經公二男天正六三廿出家號法雲院
法名大叔祐公同八十廿七薨六十六

定熙 母右大臣藤經名公女實久左大臣從一位公朝公男母家女房
本名家雅 慶長廿六四右大將元和五二七
内大臣同七正二右大臣寛永十二廿四左大臣
寛永十二薨七十七歳 號霜松院

實久 母内大臣藤公維公女 左中將 權中納言 德大寺相續
母越前國朝倉義景女 右少將
忠長 出家法名靜屋
母 山 公海 毘沙門堂

母同 寛海 勸修寺
母同 某 武家
母 定好 實永十四十一五右大將
慶安三廿五内大臣
承應三十四左大臣
母 宗保 中御門相續
母家女房

母 定逆 野宮
母 慶算 養源院
母 女子
母 定教 從三位左中將
承應三卒廿五歳
母 信尚公女
母同 定誠

花山十一

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

定長
補任云弘安四年正月
十日薨年廿三

清雅
補任云正慶二年二月
十九日出家

家雅
補任云延慶元年八月
十四日薨

冬雅
補任云正中二年育七日
薨

宗雅
補任云康應元年月日
薨年六十九

定教
補任云嘉暦元年月日
薨

女子
母同實久

女子
母同忠長

女子
母同
實村卿室

女子
母同
捴持院

女子
母同宗保

女子
母同

号鷹司

長雅
母同通雅公
弘安十二十六薨
或本通雅公子
正二位
大納言

定教
母
正二位
権大納言

女子

家雅
母同定長
正二位
権大納言

定長
母實持卿女
従二位
左中将
参議

清雅
母中将忠雅女
院女房宰相局
正二位
権中納言

定淵
母
山
権僧正

冬雅
母権大納言
藤俊光女
中納言典侍
正三位左中将
早世

宗雅
母故入道権
大納言資名女
正二位
権中納言

具雅
母
實父宗氏
本名兼氏

家頼
母陽徳門院女房播磨局
右少将
本名無定
出家

春宮権大夫
正二位
権大納言

花山十二

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

淨雅

賴憲
補任云文永十年月日
出家

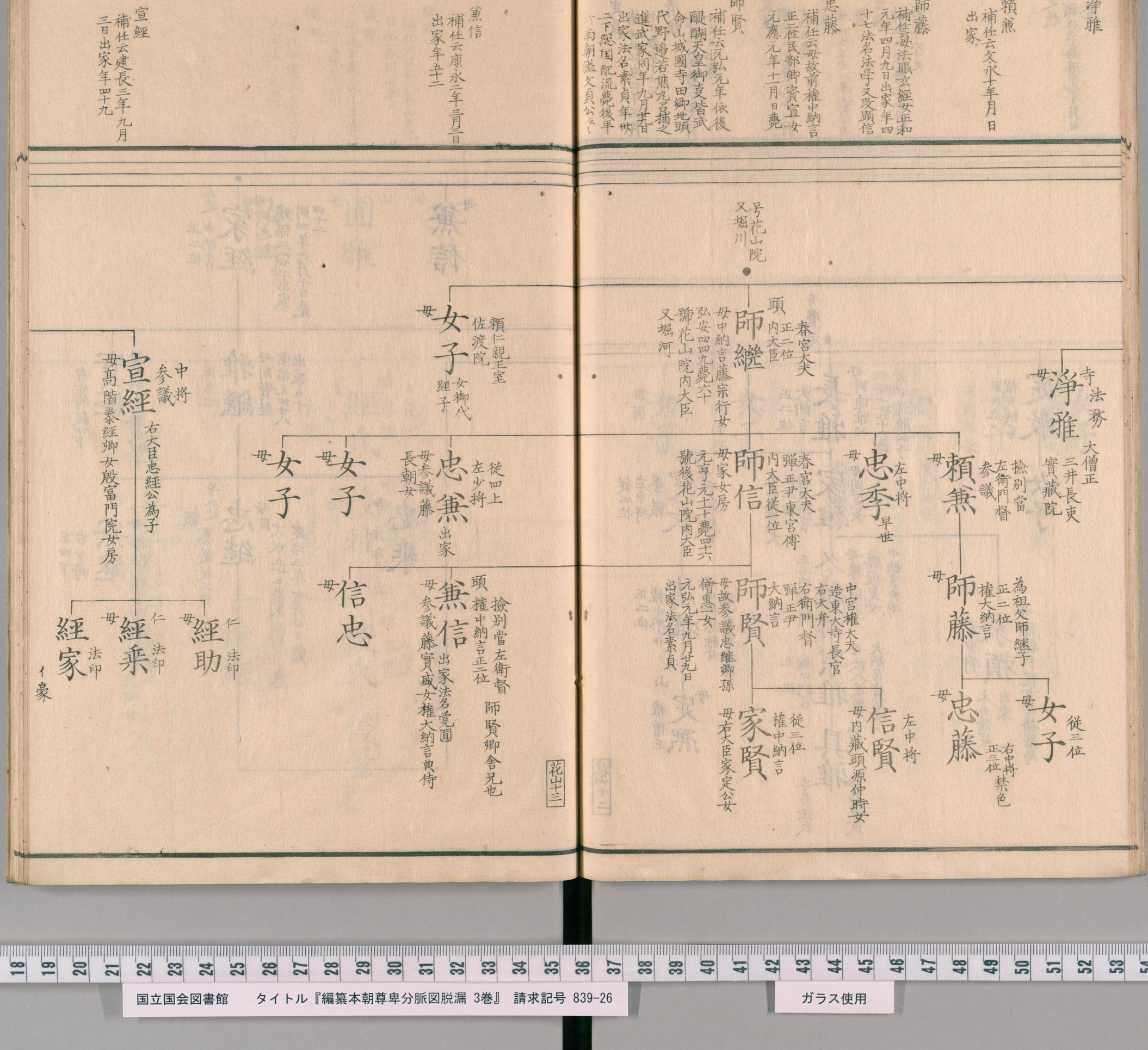
師藤
補任云母法眼玄經女正和
元年四月九日出家年四
十七法名法学又改頭信

忠藤
補任云母故前權中納言
正二位民部卿資宣女
元應元年十月日薨

師賢
補任云元弘元年依後
醍醐天皇御支皆武
命山城國寺田鄉地頭
代野遠若熊丸召捕之
進武家同年九月廿日
出家法名素貞年卅
二下總国配流薨後年
号南朝益欠貞公云々

憲信
補任云康永二年三月三日
出家年五十二

宣經
補任云建長三年九月
三日出家年四十九



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

経氏
補任云弘安八年四月九日出家同日卒

俊雅
補任云應長元年五月廿二日薨年四十

俊氏
補任云建武三年月日出家云々或薨

母 無信

母 無成

母 女子

山 母 圓雅

五辻 中納言 正二位
家経
母同忠経
建保三八廿三出家
同四年六月十日薨
四十二

右少将 従四下
実経
母大納言藤成親女

正三位
雅継
母同実経
宝治元四廿八
出家五十

正四下 右少将
無継
母雅楽頭安倍春元女

頭 参議 従三位
忠継
母同
文永五十五出家法名了恵
建治三年七月廿日薨

寺 法印
母 忠乗

頭 左中将 従三 参議
経氏
母卜部 無直女

國母

准三后 従三位
女子
経子

頭 左中将 右衛門督 参議 従三 本一経
俊雅
母惟宗行経女
實者宗親子

中将 正四下
俊継

頭 参議 正三位
俊氏
母

本實雅改家宗
出家了覚

俊量
出家

花山十四

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

宗親
補任云乾元元年十月
廿五日薨年六十二

親氏
補任云正和元年十月
廿九日薨

頭
母 宗親 正二位 左中将 内蔵頭 左兵衛督 参議
本名宗親又家繁
又復宗親

頭
母 親氏 正三位 左中将 左兵衛督
本名經頼

母 無親 右少将 早世

母 具忠

母 長親 内蔵頭 少納言四下

母 宗經 正四下 左中将 早世

母 長俊 中将

母 俊継 本一親

母 俊宗

母 行親

母 女子

花山十五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

忠氏
補任云元應元年十月
十五日出家法名空一

忠子
女院小傳云元應元年
十月十五日御事年十二

無頼
補任云文永六年三月
廿日薨或文永四年月
日薨兩說不審

國母

女子

従二位
大膳大夫
左兵衛督
宗氏
母同經氏
嘉元三年九月十七日出家
法名覺惠
正和二四廿薨年六十八

後宇多院妃後醍醐院母

従三后
准三后
従三位
女子
母皇后宮亮高埔女帥局
忠子
談天門院

正應元十三奉誕後醍醐天皇
永仁六七廿一従三位
正安三七廿准三位
嘉元元九尼蓮華智
文保六四十二院號

左中將
従二位
忠氏
母伊勢守藤佐村女

母
家藤

母
宗教

母
氏継

従五上
兵衛佐
信家
本家能
母右兵衛督藤光能女

為祖父家經卿子
右中將
従三位
無頼
本名忠氏

母
長忠
正三位
正應二九七出家
法名真寐

中將従四上
少納言
長頼
母

母
定頼
中將

母
定繼
中將

母
定氏
中將

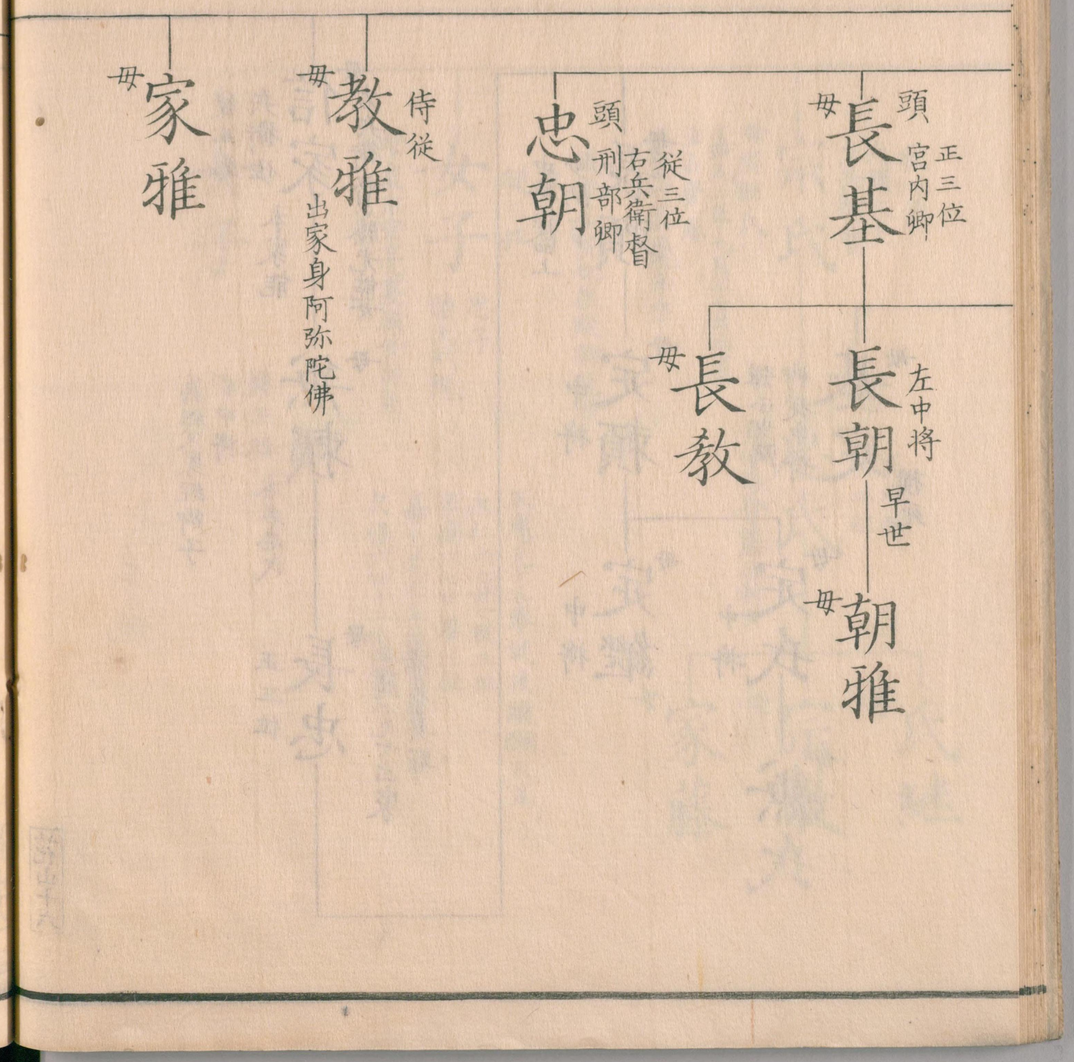
母
無氏

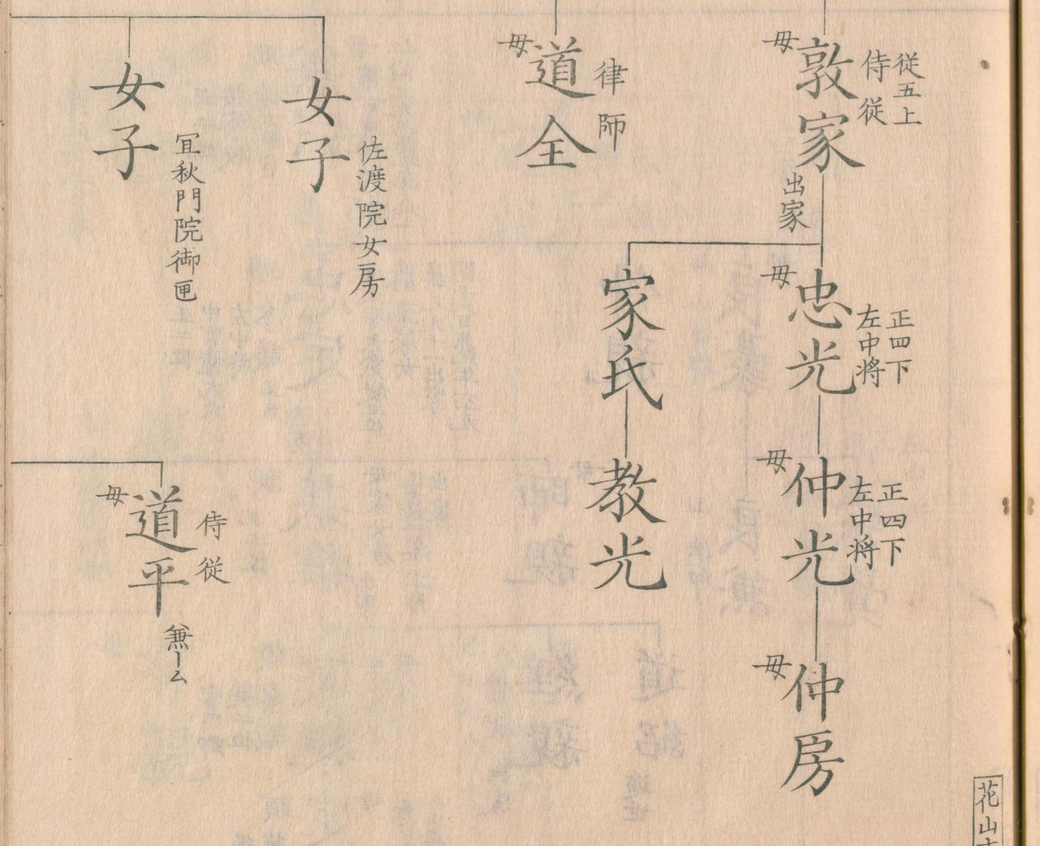
彈正少弼
侍従中將
母
基定
横死

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

忠親公傳

保延六正六叙爵　久安五四九左衛門佐同六年五廿補藏人同七年兵従五上仁平元四廿三解官依不勤仕齋王御禊前駈也同年九四還藏人同二年九九正五下久壽二七廿三正藏人依天皇山陵御也同年八廿五更補藏人同三年四六右少將同月廿従四下同五年五廿一左中將同四年正六従四上平治二正五正四下永暦元十三補藏人頭長寛二正廿参議仁安二正廿八従三位同年二十二権中納言同三年三十正三位





花山十七

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

安元二正三従二位同三年正廿
右衛門督同日補 別當治
承二廿六中宮權太夫
同三年三十勅授帶劔同
年十七春宮大夫同四年正
廿正二位壽永二正廿二權大納
言久治五七十轉正建久二三
廿八内大且同年五廿六依病
上表同年十二十五出家法名
靜如

家親

甫任云文保元年九月四
日出家伏見院御葬禮
供奉即夜出家法名覺如
家傳法名行信

中山流

忠親

母同忠雅公
建久五十二十五出家法名靜如
同六三十二薨年六十五
号中山大臣
山槐記此公記也

撿別當
右衛門督
中宮權太夫
春宮大夫
五藏正二位
内大臣
頭

仁 東一長者
法務大僧正號保壽院
母 覺成 高野御室
灌頂資
建久九十廿四入滅年七十二

仁 阿闍梨
母 覺深

無宗

母權右中弁光房女
仁治三九三薨年六十

正二位
按察使
頭 權大納言

忠定

母太宰大貳從三位
藤重家女
康元元十二出家
同十八日薨年六九

頭 參議 本名忠房
正二位
中宮權太夫
左中將

仲親

山 少僧都
母 良豪

基雅

母家女房 出家
正嘉二年十月
出家

頭 正三位

山 法印
良兼

山 僧都
宗覺

母 師親

家親

母中納言
實世女

頭 參議 宮内卿 從二位

定宗

母 應安四三
十五薨五十二

頭 權中納言 從二位

道紹

遁世

經親

侍從 出家

右兵督公行卿室
皇后宮亮行雅母

女子

母同忠雅

親雅

甫任云康曆二年十二月十
四日任參議左中將如元元
藏人頭云父故權中納言
定宗卿云同三年三月十日
從三位同月十三日正二位永
德三年四月廿日權中納言
同年十月十六日兼右衛門督
十二月十五日從二位至德四年
月日辭退同十一日民部卿
明德元年四月一日還任兼
左衛門督同三年十二月廿
正二位同四年十二月廿九日辭
應永元年十二月廿五日權
大納言兼彈正尹同二年六
月三日辭同月廿日出家法名
祐元改宗雅同九年五月廿
七日薨年 五十

滿親

甫任云應永廿八年四月
十六日出家法名祐親同
月廿六日薨五十一

定親

甫任云文安五年六月廿
三日出家法名祐繁
長祿三年九月十七日薨
年五十九

親雅

左中將
正二位
頭 權大納言
本名親兼

滿親

有親

母 早世
應永卅一年六月十四日卒

定親

頭 權大納言正二位
左中將 參議 彈正尹

親通

頭
母此卿令以意入
本名教親

親平

右少將
母 能圓法印女

忠季

正四下
頭左中將
母同兼宗
建久七正廿卒

有親

母

花山十八

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

親通卿傳

甫任云父彈正尹定親卿男
正長元年十月十日叙位于時
三歳永享五年正月五日従五位
上通八歳同十三年正月六日正五
位下嘉吉二年十月三日元服同
三年正月廿六日侍従同四年正月
六日従四位下文安元年三月廿
日左少將同二年三月三日伊与
権介同三年正月廿九日左中將
同年四月廿二日従四位上同年
月日正四位下同年月日藏人頭
同四年三月七日參議同五年
正月廿九日無加賀権守同年
七月廿日従三位宝徳元年七月
日権中納言同三年四月八日正三
位同三年七月四日辞権中納言
同月十六日民部卿享徳三年
正月五日従二位康正元年五月
廿権大納言長禄二年十二月
二日辞権大納言寛正元年正
月六日正二位同年十二月日還任
同三年五月廿五薨年三十七

親覺

東寺長者甫任云
建保元年九月廿九卒
年五十八

親慶

東鏡云貞應三年七月廿四
日未刻勝長壽院別當大
僧都親慶入滅五十六
内大臣忠親公息

宣親

甫任云父権大納言正二位
親通卿男長禄四年十月
一日叙位文明六年四月十三
従五位上同年月日侍従同
八年六月廿一日正五位下同年
月日左少將同九年十二月
十三日従四位下同月日藏
人頭同日左中將同十年九月
十三日従四位上同十年正月
五日正四位下同十年八月廿
八日正四位上同十三年八月十
九日參議如元中將同十五年月
日従三位長享二年九月
十七日権中納言延徳元年
八月廿日勅授同三年七月
四日正三位明應四年正月五
従二位永正三年二月三日正二
位同年九月日俄出家法名
祐什年四十九

康親

甫任云天文二年十月廿五日
出家或云法名祐全同七年
八月十四日薨年五十四

尾張守
従四位少納言
忠明
母大納言平時正卿女

仁法印 大僧都
親覺
東寺二長者
圓樂寺

従三位
兼季
母同忠明

雅明
或忠明子云々
母

忠輔
散位
従五下
母

興
覺儼
母

侍従従五下
忠朝
母

醍醐座主
東二長者
法務大僧正
覺濟

山 少僧都
親豪

仁 法印大僧都
忠海

女子
内大臣基家公室

山
圓兼
母忠季女

母
性親

母
明親

寺 大僧都 鎌倉御堂 別當
親慶
母

少僧都
覺紹
母

女子
實親公等母
公房公室
母

女御代
女子
大納言局

藏人頭 參議 左中將
正二位 權中納言
宣親
母永正十四年十月廿日薨年六十

藏人頭 參議 左中將
正二位 權大納言
康親
母法印兼壽女

參議 左中將 正二位
頭 權大納言 准大臣 從一位
孝親
母

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

孝親
甫任云天正六年正月十三
准大臣同十六日薨年卒七
法名臨空号光恳院

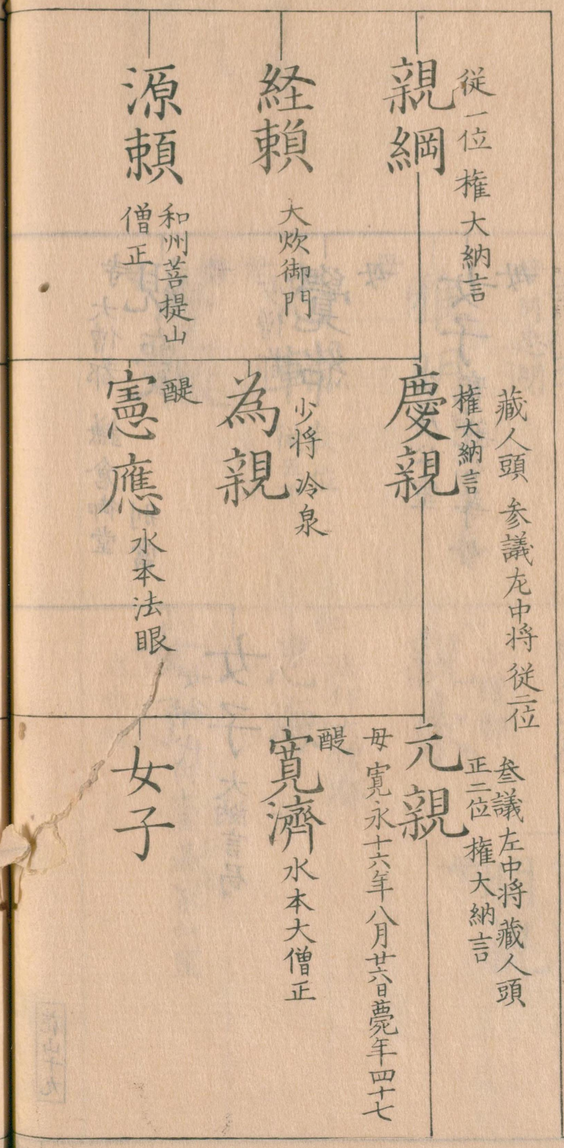
親綱
甫任云母従三位源諸仲卿
女云、慶長三年十月廿八
日薨年五十五法名相空

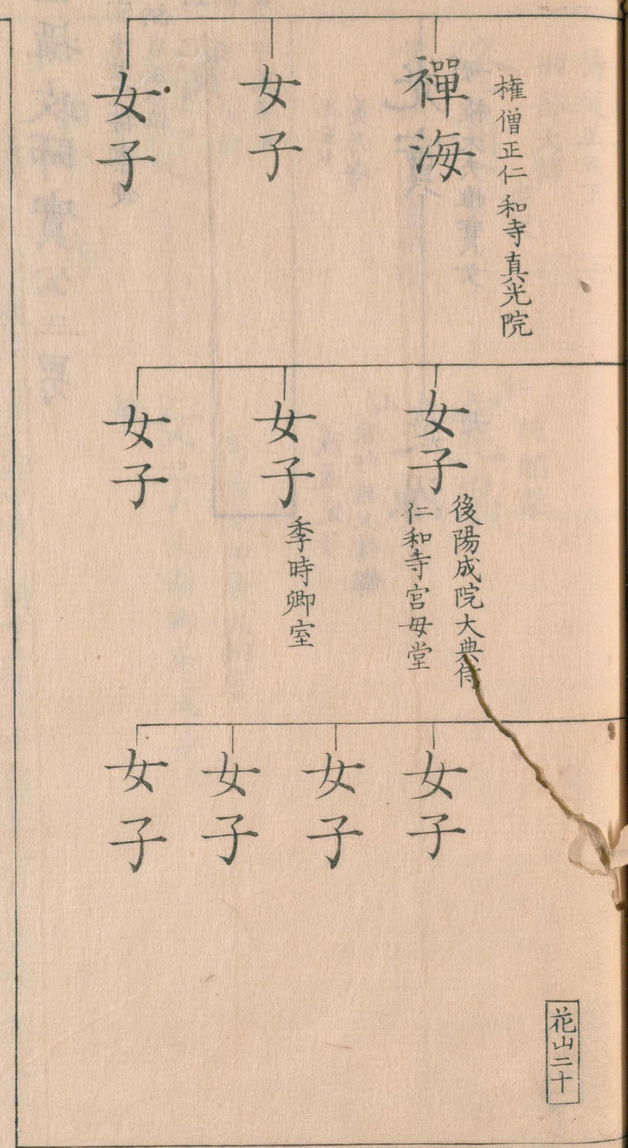
慶親
甫任云母神祇伯雅業王
女元和四年四月十日薨年
五十三法名向空

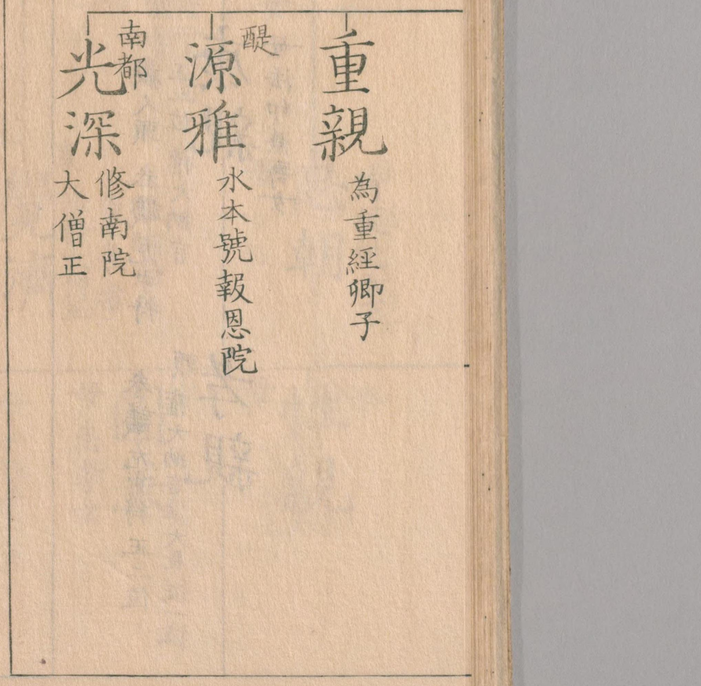
禪海
仁和寺諸院家記上真光
院條云慶長三年八月廿
八日入滅

女子
紹運録下云一品覺深法親王
母大典侍藤親子中山権大
納言親綱卿女

英親
甫任云故権大納言元親
卿男承應四年五月廿三
日任参議左中将如元元藏
人頭六月十日辞退明暦
二年正月五日従三位萬治
三年正月二日正三位十二月
廿四日権中納言寛







国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

大炊御門流

京極攝政師實公三男

中宮權大夫按察使
大納言正二位
經實
母美乃守基貞女

正五下
美乃守
光實
母權大夫惟實女

或通定子
法印權大僧都
山
延源
母

經實卿傳

承保二正七従五下　兼暦四十六元服　同年四六侍従　同年閏八廿二右少将
兼暦五年正七従五上　永保元十五正五下　同二年正七従四下　同月廿一右中将
永保三年正七従四上同四年正廿六正四下同年六廿三補藏人頭　應徳二十二廿六従三位
寛治二正十九正三位　同年八七従二位　同五年正廿五中宮權大夫　同月廿八參議
嘉保三正廿權中納言　兼徳二年正月日正二位　康和二七十七轉正　同四年正廿三權大納言
永久三年四月廿谷轉正　保安元正廿八按察使　天承元十廿三薨年　六十四

花山廿一

侍従正五下
刑部大輔
出家
隆通
母大納言公實卿女

仁
阿闍梨
母
寛果

正五下
加賀守
母
通定

母
女子
民部卿季成妾

高陽院女房大納言

賴實公傳

長寛元十二廿七従五下七月十八右中將　同廿五従五上　同二年二月十正五下　三月廿八
従四上八月四日正四下　壽永二四五權中納言　文治元十二廿五正二位　同二年十二十五右衛門督
同三年九十辞別當　同六年七十七權大納言　同九年三五皇后宮大夫　同十年六廿二
大政大臣　元久元正二従一位　永万元年正廿三右少將　仁安三年正六位従四下
同三年三廿皇太后宮權亮　治承三十二十七従三位　同四年四廿一正三位　同三年十六
左兵衛督　同年十二十七従二位　同日補使別當　同五年七十轉正
同三年九十辞別當　同六年七十七權大納言　同九年三五皇后宮大夫　同十年六廿二
大政大臣　元久元正二従一位　永万元年正廿三右少將　仁安三年正六位従四下
同三年三廿皇太后宮權亮　治承三十二十七従三位　同四年四廿一正三位　同三年十六
左兵衛督　同年十二十七従二位　同日補使別當　同五年七十轉正
建久二三六右大將　同年十二十四右大臣　建仁二十二廿五東宮傅　同年十二七上表辞退
建永元十二五給兵仗　兼元二十二十七還任　同三年正廿一上表辞相國傅　如元依東宮
御元服也　同四年十一廿五止傅依讓位也　建保四正廿八出家法名顯性

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

家嗣

甫任云母権中納言藤光雅卿女建長元年十月十七日出家文永八年七月八日薨年七十五

經宗公傳

甫任云母従三位公子大納言藤公實卿女保安四二十九叙爵大治三正廿四左兵衛佐同年十二廿昇殿同五年正五従五上天承元年十廿四右少將長承二正二五下同年四、禁色同四年正五従四下保延三正五従四上同年九廿五正四下同年十二十七左中將永治二正七藏人頭久安五七廿八參議仁平三廿八従三位久壽二九廿二春宮権大夫保元元四六権中納言同年九十七右衛門督同日正三位同二年四二別當

大炊御門

- 經宗
  - 母春宮大夫公實女 文治五二廿八薨七十 歸中御門
  - 檢別當 春宮権大夫 右衛門督 左大將 東宮傳 従一位 左大臣
  - 賴實
    - 母中納言藤清隆女 嘉祿元七廿薨七十二
    - 檢別當兵仗 皇宮大夫 左兵衛督 右衛門督 右大將 東宮傳 従一位 大政大臣
    - 師經
      - 母雅樂助橘政光女 建長八八廿九出家 法名顯空 正嘉三八十五薨八十四
      - 實者賴實公舍弟為子 實者重盛公子不經大將 正二位 右大臣
      - 家嗣
        - 母基宗卿女 文永五八十一出家 同年九九薨五十一 號大炊御門 香隆寺
        - 檢別當兵仗 皇宮大夫 左兵衛督 右衛門督 右大將 東宮傳 従一位 大政大臣
        - 冬忠
          - 母筑前守長宗女 延慶四三廿薨年七十六 先出家行智 號嵯峨大政大臣
          - 實者賴實公 舍弟為子 實者重盛公子不經大將 正二位 右大臣
          - 信嗣
            - 母権大納言藤資季女
            - 冬輔
              - 母 定助 大僧正尊勝院
              - 忠藤 少將
            - 従一位 左大將 内大臣 太政大臣
        - 忠嗣 母 正四下 左中將
        - 經嗣 母 正四下 左中將
        - 女子 母 關白實經公北政所家經母
      - 號嵯峨 春宮大夫 右大將 正二位 内大臣
    - 通成 母 右兵衛佐
  - 宗實 母 土佐守
    - 宗源 山 阿闍梨
      - 女子 母 女御代 經子
      - 女子 母 左大臣實房公室 公房母
      - 女子 母 大政大臣兼房公室 離別
  - 尊經 山 法眼
    - 女子 母 女御代
      - 氏嗣 母 従二位 隆綱女 待従正四下
        - 藤嗣 母 法印権大僧都
          - 忠讚 母
      - 忠覺 山 僧正 雲林院 母
      - 觀圓 寺 権大僧都 母
      - 女子 母 院女房 廊御方

同三年正十従二位永暦元二廿八解官去廿二日坐事以帝威之重寄於禁裏仙洞御親子之間申沙汰異議頻申傾仙洞御世務稱詔宣違皆院中之眤諠動及狼藉仍自仙洞被仰大貳清盛朝臣被召誡之清盛軍士馳向彼宿處之所本所家人等防戰官軍多被疵家人雖命然而為民部大輔為永遂被名捕訖時參仙洞已可被行死刑之處法正寺攝政申沙汰止死罪一等被配阿波國應保二三七被召返官府請印長寛二正廿復本位還任同年二廿八聽帶劔同年閏十廿三兼左大臣永萬二十廿三兼左大將同年十二轉左大臣仁安三八九辭大將兼安四正七従一位治承二二十五東宮傳同四年二廿一止傳文治四十一廿八辭退同五年二十二出家同廿八日薨

花山廿二

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

冬信

甫任云観應元年六月廿八日薨年四十号随心自在院又大炊御門内大臣

宗實

甫任云母内大臣正二位實衡公女應永九年九月日出家年六十同十二年五月五日薨年六十三

冬宗

甫任云應永十二年九月五日薨年四十九

宗氏

甫任云應永廿八年四月六日薨年四十七法名常還號瑞慶院

家信

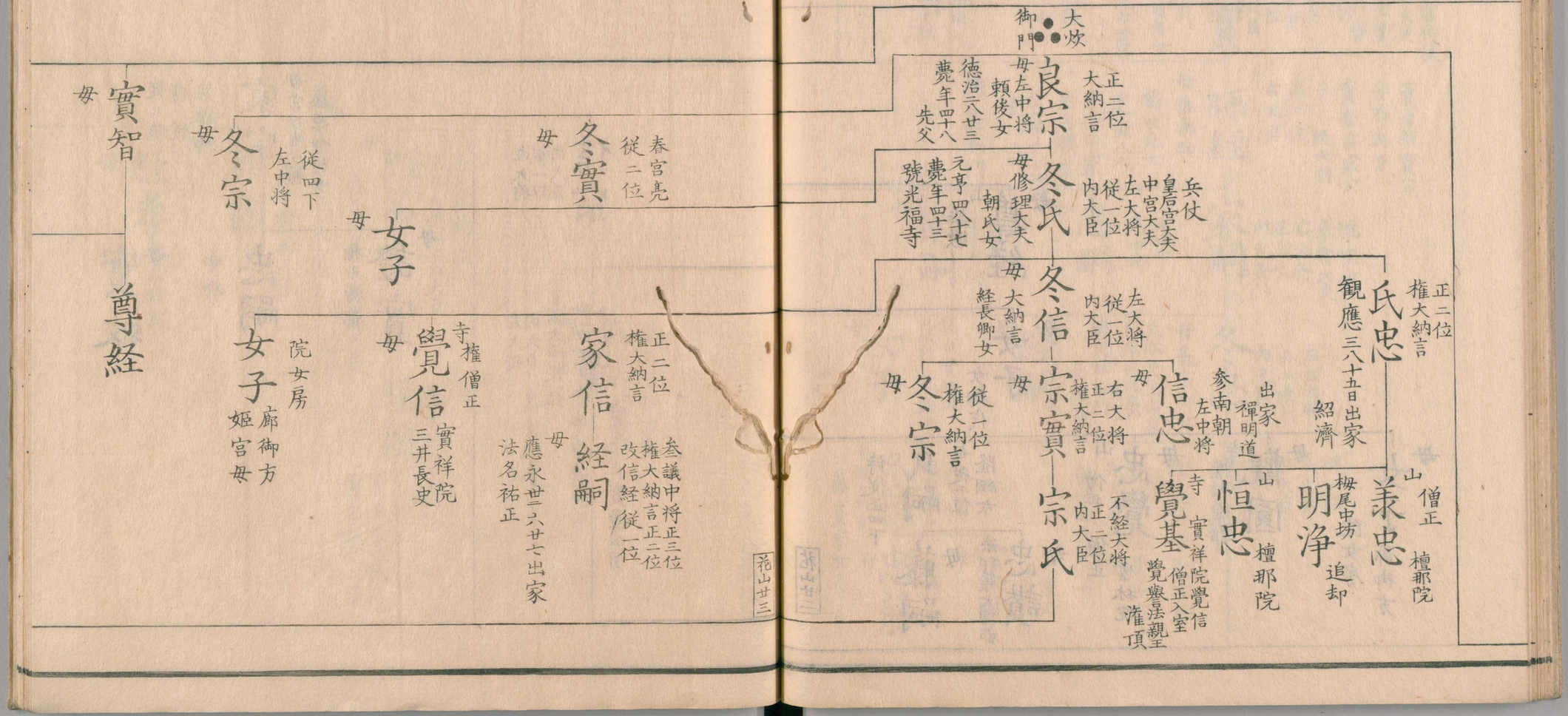
甫任云母大納言正二位藤経長卿女貞治五年三月十六日出家法名空覺年五十二

氏忠

甫任云母遊義門院美濃前若狭守藤景頼女文和元年八月十五日出家法名紹齋

冬實

甫任云永仁四年十月廿日叙従三位同五年七月廿二日正三位正安三年十月十日従二位嘉元三年十二月廿日參議徳治二年十一月権中納言同三年十一月八日正二位延慶二年十月十五日辞康永元年十二月廿五日薨年六十五



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

家宗
甫任云建暦元年十月十日
薨

信宗
甫任云享徳二年月日出家
年六十三號後瑞慶院

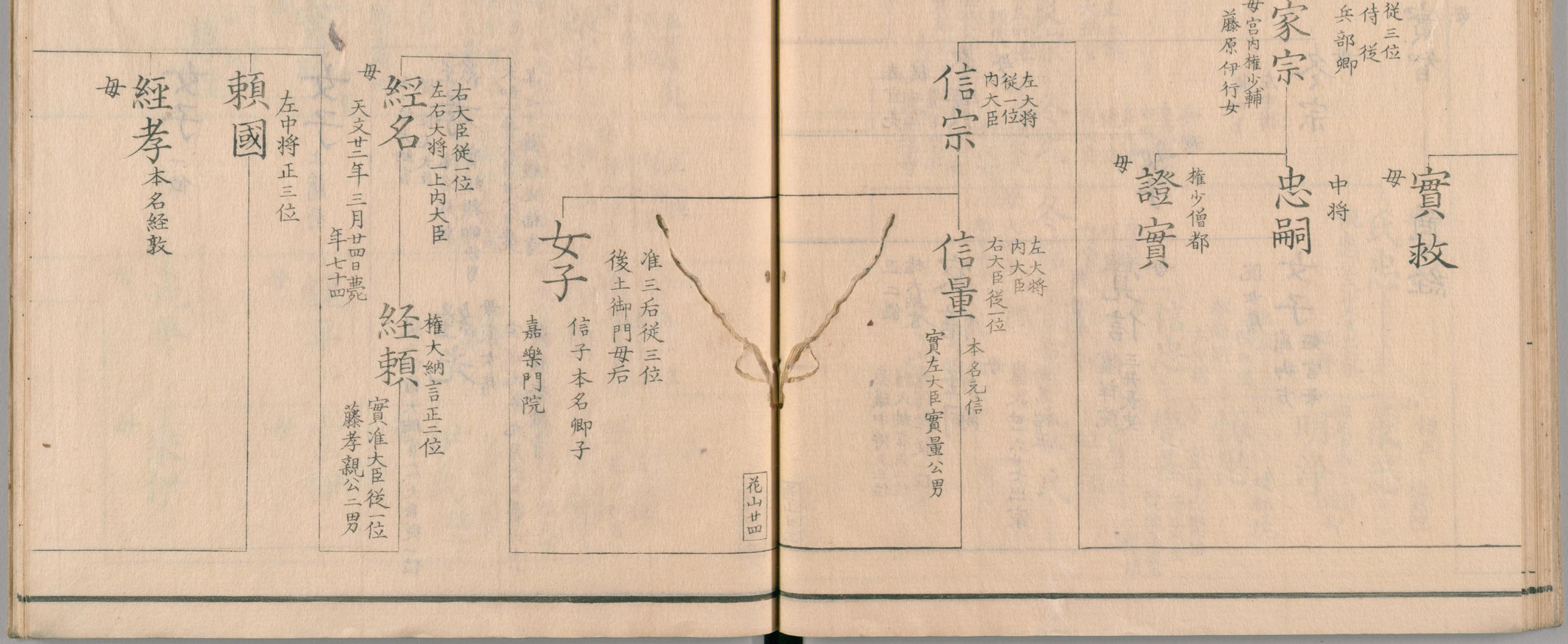
信量
甫任云長享元年八月四日
薨年四十六號深草右大臣

嘉樂門院
紹運録云後土御門院下
内大臣信宗猶子實藤原
孝長朝臣女

経名
甫任云母従一位権大納言
藤持季女天文十一年四月
十日出家年六十三

経賴
甫任云母故従三位源諸
仲卿女元和三年七月十八
日薨年六十二

賴國
甫任云慶長十四年七月四
日勅勘十月九日流罪硫
黄嶋同十八年五月日於嶋
卒去年卅七



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

女子 一位

女子 上臈局

経孝 正二位大納言
従一位左大臣
本名経敦
実経頼卿次男
天和二年六月廿六日薨
年七十 號後光福寺

経光 従二位権大納言左大臣従一位
母家女房
宝永元年九月六日薨六十七
號後香隆寺

宗嗣
甫任左嘉暦元年十月四日
薨年七十

號鷹司

頼平 春宮権大夫 正二位 中納言
母平時忠卿女
貞應二年八月日
出家寛喜二
八十五薨年
五十一

頼平 正二位 按察使 中納言 権大納言
母法眼泰宗女
建長三年月日
出家法名顕憲
弘長二十廿七薨
六十三

伊頼 正二位 民部卿 権大納言
母大宰帥資實女
弘安六六四
薨六十二

宗嗣 正二位 権中納言
母従二位頼氏女

經平
母

宗伊
母

伊氏 待従後五下
母 猶子

光平
母

乗伊
母

號皇禪師
仁
母 實昭 改智

山 法印 尊經

花山廿五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

麗子
女院小傳云寛元元年
九月十八日御事年五十九

元久四十三女御
同年七十中宮
兼元四三十九
院號、兼久二
正廿七為尼
清淨妙世六
土御門院后
中宮
従三位

女子 麗子
陰明門院
母従二位隆子
定隆卿女

正三位
参議
右兵衛督
宗平 左中將
母 貞和三廿四 頓死
忠頼
母

宗房
母
賴継

宗兼
母
賴冬
母

宗春 左中將 早世
母

伊嗣
母
實貫
母

兼賴

従二位
民部卿
中納言
光忠
母大蔵卿為房女
嘉應三六七
薨五十六

従五下
散位
通忠
母

少僧都
靜雲
母

阿闍梨
内供
遁世
昇蓮
光全
母

正三位
経家卿室
女子
母

三位中將惟盛室
女子
母

賴基
甫任云嘉元三年八月廿日
出家在関東號坊門

従三位
左中將
賴基
母
改一基
藤輔
母
通輔

寺
僧正
尊道
母
圓伊
母

淨金剛院
覺道
上人
禪空
母
寺
靜伊
母

實伊
母
公信
母

花山廿六

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

女子
大納言宗頼室

- 女子 大相國實基公妾 母 公孝公養母 — 侍従 従五下 氏忠 母
- 基平 正四下 右中将 母 出家
  - 基嗣 正四下 左中将 — 冬頼 猶子 母 — 藤嗣 猶子 母
  - 定基 従五下 出家 蓮心房 母 — 宗譽 寺 権律師 母 敬宗僧正資
  - 行耀 仁 権少僧都 母 — 慈俊 僧都 母
- 女子 大納言公時卿室
- 頼意 権大僧都
- 慈快 山 阿闍梨
- 女子 大政大臣實基公室
- 女子 内大臣家基公室

花山廿七

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

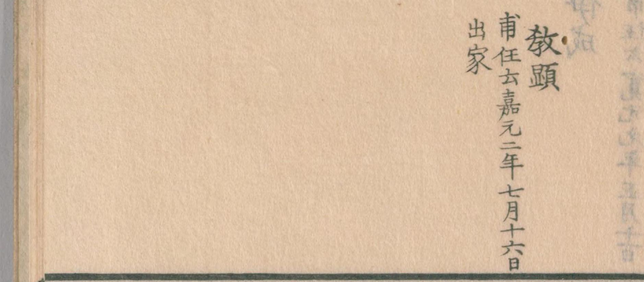
華山芝

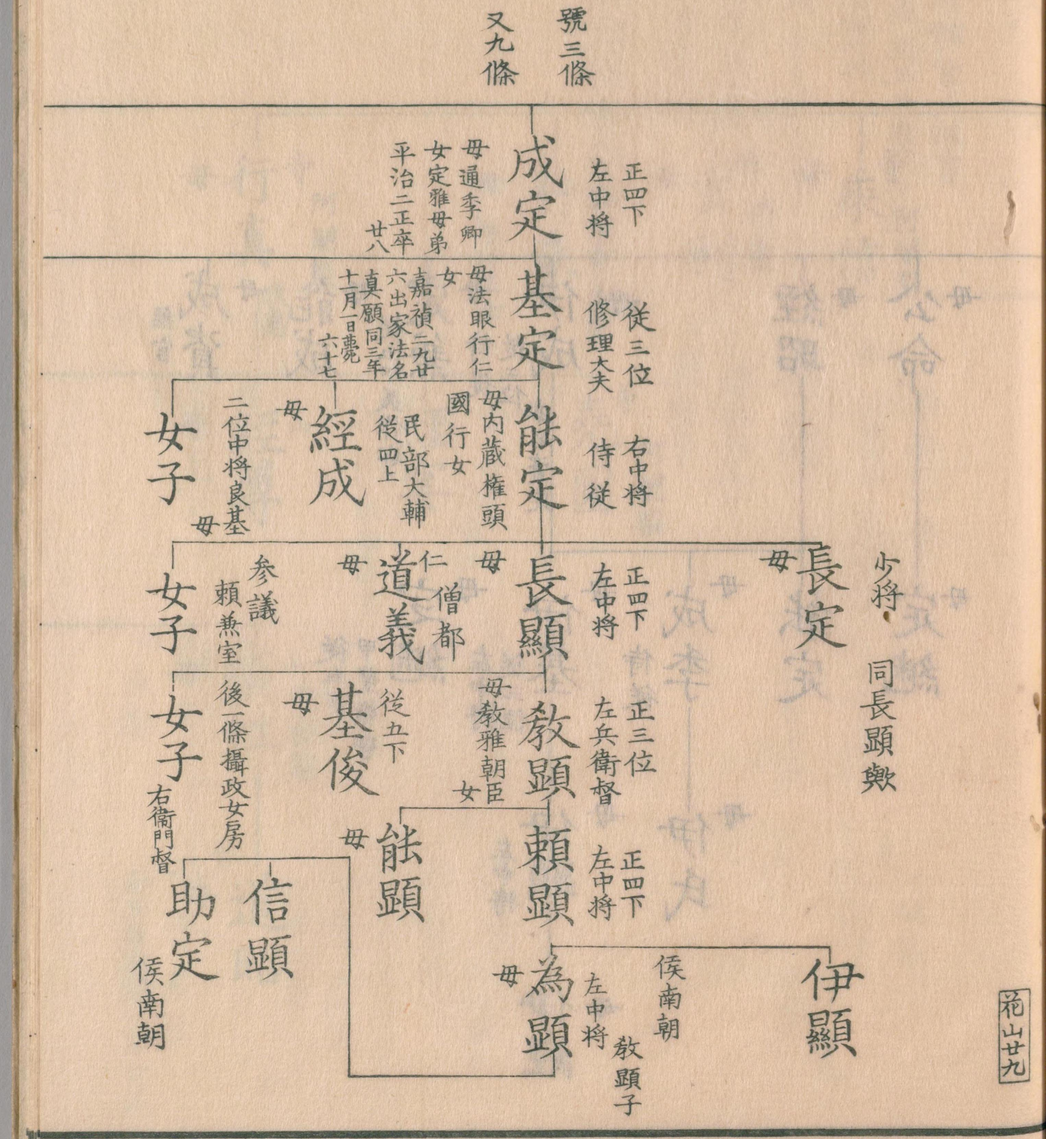
- **賴定** 甫任云養和元年三月十八日薨五十五號堀河宰相
  - 實者 經宗公舍兄也 右兵衛權佐 中宮權亮 正三位 中納言 頭 式 正三位 參議 號堀川頭 **經定** 母治部卿通俊女 保元元正廿八薨五十七
    - **賴定** 本憲定
      - **資賴** 母祝部成仲女 土左備中守 皇太后宮權大夫 寮頭從五上
        - **資隆** 母
        - **緣快** 法印 權大僧都 母 侍從從五下 **資定** 母
        - **覺融** 母 中山 春日房
      - **賴房** 母但馬守親弘女 寬喜三三廿出家 建長五七八薨 雖鳥飼三位入道 越後守 左中將 從三位
        - **賴行** 母三位經宗女 正四下 中將
          - **行忠** 從五下 土左守
          - **賴時** 侍從
            - **賴圓**
            - **時經** 母 左中將
        - **賴俊** 母信隆卿女 正四下 左中將
          - **經顯** 母 正四下 左中將 本茂實
            - **經有** 母
    - **賴行** 母三位經宗女 正四下 中將
      - **行忠** 從五下 土左守
      - **賴時** 侍從
        - **賴圓**
        - **時經** 母 左中將
    - **賴俊** 母信隆卿女 正四下 左中將
      - **經顯** 母 正四下 左中將 本茂實
        - **經有** 母
  - **經定** 母治部卿通俊女 保元元正廿八薨五十七
    - **賴定** 本憲定
      - **資賴** 母祝部成仲女 土左備中守 皇太后宮權大夫 寮頭從五上
        - **資隆** 母
        - **緣快** 法印 權大僧都 母 侍從從五下 **資定** 母
        - **覺融** 母 中山 春日房
      - **賴房** 母但馬守親弘女 寬喜三三廿出家 建長五七八薨 雖鳥飼三位入道 越後守 左中將 從三位
        - **賴行** 母三位經宗女 正四下 中將
          - **行忠** 從五下 土左守
          - **賴時** 侍從
            - **賴圓**
            - **時經** 母 左中將
        - **賴俊** 母信隆卿女 正四下 左中將
          - **經顯** 母 正四下 左中將 本茂實
            - **經有** 母

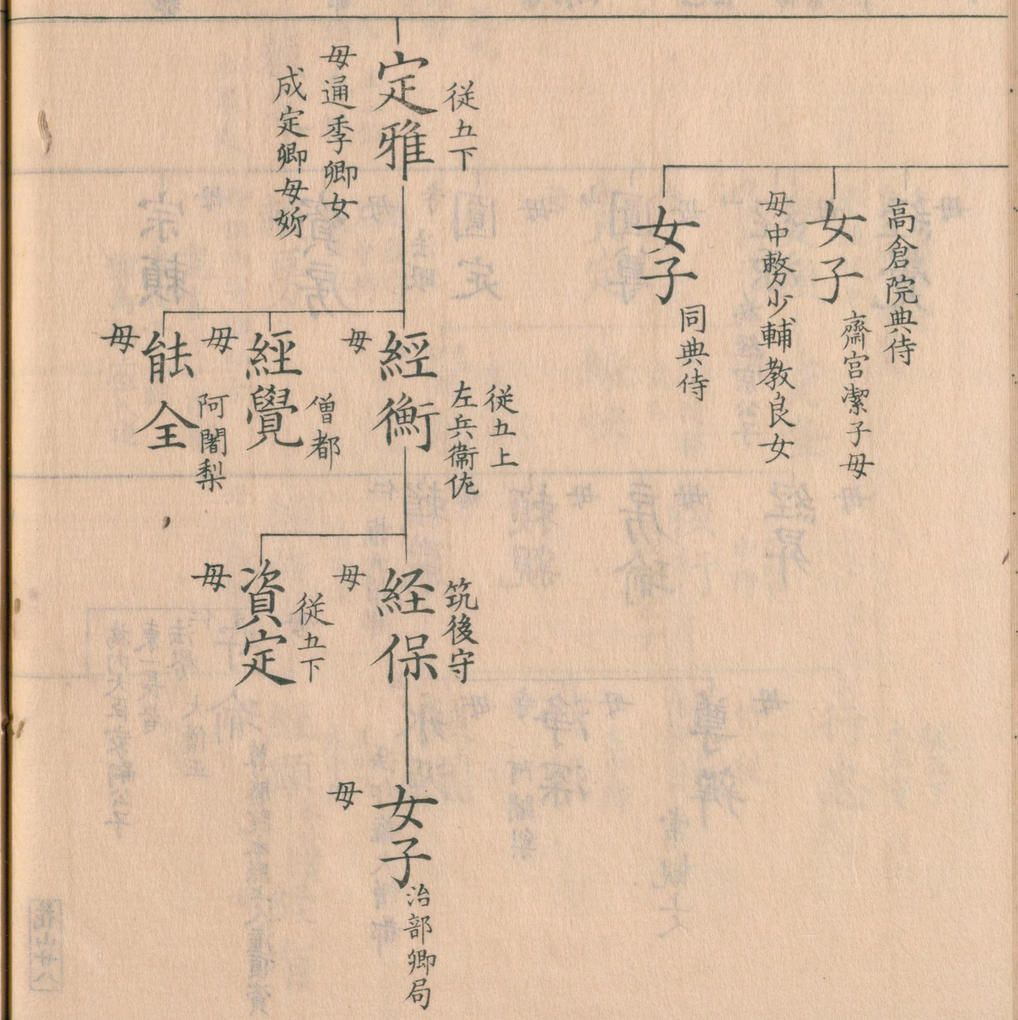
- **守瑜** 仁和寺家記上尊勝院 條云左中將賴俊子伯父 太政大臣信嗣為子 按伯父可疑 ○光明院條云左中將 賴行朝臣息云々
  - **靜經** 寺 法印 權大僧都
  - **公性** 寺 法印 權大僧都 母
  - **賴源** 山 阿闍梨 母
  - **覺觀** 興 後白河院女御 二条院母后 贈皇后宮
  - **女子** 母同經宗公 左大臣吉仁公 猶子 懿子
  - **宗賴** 母
  - **資房** 母
  - **圓定** 寺 法眼 母
  - **圓尊** 山 母
  - **經源** 山 母 為經宗公子
  - **經覺** 母
    - **經昇** 母
    - **房瑜** 母
    - **賴親** 母
    - **賴嚴** 仁 權大僧都 母
      - **永源** 山 母 法印 權大僧都
        - **淨深** 寺 母 阿闍梨
        - **尊辨** 母 常觀上人
      - **守瑜** 仁 母 為內大臣家嗣公子 東一長者 法務 大僧正 尊勝院本照上人潅頂資

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用







国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

伊成
甫任云寛元元年正月十日
出家年五十

伊基
甫任云文永七年月日
出家

成資 無官
母

能成
母

定無 従五下美作守
母 侍従

伊成 従三位 本名資定
母

公命
母

経昭
母

定継 従五下 甲斐権守
母

伊基 左中将 従三位
母

成季 侍従
母

伊氏
母

定継
母

能定
母

伊顕 左中将
母

伊経
母

行真 寺 阿闍梨 改恵
母

行乗 法印常喜院
母 源仲正女

玄利 興得業
母

乗信 寺 阿闍梨
母

経尊 山
母

経宴

尭圓 寺 阿闍梨
母

順性 山阿闍梨
母

道昭
母

花山三十

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

京極攝政師實公四男

皇大后宮大夫
權大納言 正二位
頭
能實
母 同經實卿
長兼 元九九薨 六十三
號小野宮大納言

筑前守
散位從五下
基能
母 出雲守基仲女
保安三 卒

寺
母 隆尋

母 女子 尼淨心

母 女子 源顯盛妻

山 内供
母 賴性

寺 命伊

母 慈快 山 僧都

母 女子 福光園院関白家女房 高倉

母 女子 同家女房 大納言

酉 權大僧都
母 勝玄 為伊賴子

正四下
左中將
母 忠賴
母中納言祐家女

寺 法眼內供
母 八幡別當法印光清 女
眞勝

母 女子 中納言忠宗室 忠光母

母 女子 大納言源師賴室 右京大夫 師光母

母 女子 內大臣宗能室

母 女子 大蔵卿源師隆妻

從五下
定圓 本名忠成
母 清和院齋宮女房

寺 阿闍梨
性尊 修行者也 修驗

山
母 能雲

山 阿闍梨
母 忠圓

寺 阿闍梨
母 良宴

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

異本系圖難波飛鳥井等祖

難波流

忠教卿傳

應德三廿九叙爵　寛治七民部權少輔
同五年四廿昇殿　同年八六權左少將
同年四五齋院長宮　同日禁色
同二年正二正四下　同三年正廿五權左中將
同月廿三從三位　康和元十五蔵人頭
同年三十四勅授帶劔　天永二正廿三權中納言
保安二六廿六民部卿　同四年六六為使別當
保延三十二九轉正　天治五四八正二位
永久元十廿九右兵衛督　同三年正廿六為皇太后宮權大夫
同三十二七權大納言　元永二七廿從二位
永治元三十出家法名覺禪　長承三七中宮大夫

京極攝政師實公五男

頭中宮大夫　右兵衛督　檢別當
大納言　民部卿　正二位

忠教
母散位藤原永業女
永治元十廿五薨 六十六

忠基
甫任云保元元年七月日
薨年五十八

散位從五下
忠兼
母春宮權大夫源季宗女

散位從五下
師教
母同忠兼

頭
忠基
母同上
太宰權帥正三位
權中納言

教宗
母官內卿源有賢女
從四下
少納言
民部大輔

忠行
母丹後守藤為忠女
越中守從五下
定長同母

基保
母

忠泰
母
正五下
右近將監

範綱
母

保世
母

忠成
母

後崇峨院上北面
從四下
右馬助
若狹守
範保
母

藏
正五下
左馬助
光保
母

茂保
母

忠長
母
正四下
越前守
後鳥羽院上北面

教緣
母
法印

花山世二

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

- 家通 母
  - 時通 母 侍従
    - 敦通 母
      - 宗基 母 藏人 淡路守 正五下
        - 宗有 母 従五下越中守
          - 女子 母 二条局
        - 宗廣 母 従五上 後深草院北面
          - 宗賀 母
          - 女子 母 法印
        - 宗賢 母
        - 宗清 母
        - 宗綱 母
        - 女子 母
        - 女子 母
      - 女子 母 右京権大夫信行室
      - 女子 母 少将公重室
    - 忠仲 母 信乃國住人號須原 丹波守為忠女 左大弁定長同母
    - 基家 母 従五下 散位
  - 親忠 母 右衛門佐清綱女 従五下 右衛門佐
  - 有教 母同 従五下 散位

- 教長 母 民部卿俊明女 父服中 任参議 頭 参議正三位 歌人 左京大夫
  - 覺慶 寺 法眼 本長
    - 女子 母 新古作者 高松院女房 右衛門佐局
  - 玄長 山 母
- 藤家 蹴鞠祖 本朝蹴鞠一道之長 山城豊後守 皇后宮亮 刑部卿 従三位
  - 賴輔 母 賀茂神主成経女 本名親忠 文治二三出家 同年四五薨年七十五
    - 賴經 母 出家 従四下 豊後守 刑部卿 建保四十二卒
- 法性寺殿入木御師範也 能書 難波 飛鳥井祖

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

賴輔卿傳

天治二正五従五下
保延二正五従五上
永暦元正廿一豊後守
仁安元十二十四従四下
同三年八四従四上
養安元年十二月正四下

大治二正廿山城守
久壽三正六正五下
應保元十十九大宮小二
同年十三皇后宮亮
嘉應二十二卅刑部卿
壽永元年四十三従三位

散位従五下
母 基教 ― 母 教範 ― 母 無雲 ― 母 教尊

従五上
中務少輔
日向守
母同賴輔
教良 本名有教 ― 母 女子

近衛院典侍
公定國通卿等母

少僧都
山
母 教仁

少僧都
寺
母 教智

少僧都
興
母 教覺

仁 法眼
母 寬俔

興 法眼
母 緣慶

三會已講
母 範慶 發道心 佛陀

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

山 三會已講
明源
母伊勢守時継女
経仁

左衛門督 通季卿室
女子
母

按察使公道卿母

宗長卿傳

治承四正廿八叙爵
元暦元正六従五上
同四年十十四正五下
建仁元正六従四下
同三年正十三正四下
同日任豊後守
同年十六陸奥守
同五年三十一解官 依父頼経配流也
寿永二四九右少将 文治元十二廿九得替兼元二十二九刑部卿

宗長
甫任云母権大納言源顕雅女

宗教
甫任云弘安元年九月日出家年七十

難波 蹴鞠
宗長
母

陸奥守右少将
刑部卿従三位

元仁二六廿二出家同廿七薨年六十三
異香盈室有往生瑞云々

頼教
母

或本頼輔子
正五下
右衛門佐

経長
母

従五下
出雲守

長貞

寺
母
長乗

大阿闍梨
住心院
大僧正

母
宗教

少将待従
刑部卿従二位

母
忠長
一男也

母
輔長

待従

母
教俊

侍従従四下

宗繼

為教継子

母
輔氏

母
教継
早世

正四下
左少将

母
宗継

正四下
左少将
刑部卿

實者教俊子云々
為伯父子
相續家門

花山卅五

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

宗緒
甫任云建武三年月日出家
年四十九

宗清
甫任云康安元年四月十一
日薨年四十四

宗秀
甫任云貞治二年九月日
出家法名道宗

宗有
甫任云貞治二年月日出家

従五下
丹後守
良平
母

難波
母
宗緒
侍従
左中将正三位

母
宗清
従三位
左中将
本名高教

母
宗秀
従三位
左中将

母
宗久
家本宗秋

母
宗音

母
宗仲
従四下
右中将
早世

寺
法印
母
頼遍

母
宗康
侍従従五下

母
宗藤

母
宗音
家本宗清子

母
宗相
侍従

寺
宗珍

母
宗興
早世

母
宗有
従三位
左中将

母
宗成
従五下
右少将

母
宗基
従五下

母
宗國
中将

母
宗世
侍従

母
宗勝
改雅胤又雅宣
實雅庸卿二男
後飛鳥井相續

母
宗種
権中納言従二位
万治二年二月十四日薨年五十

母
宗富
實宗衡子

母
延文六年四月十日薨年四十

従三位

母
宗春
改夏
従五上
右兵衛佐

母
宗國
従四下
左少将中将

母
宗富
侍従

寺
房宗
僧正

母
宗世
従五下
侍従

母
宗敦

宗名

宗富
為宗興子

母
春緒
宗景出家聖成

花山卅六

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

宗恵 法印

母 大膳大夫廣元女 教雅 正四下 左中将

母 長顕卿室 女子

母 公参卿室 女子

母 教後朝臣室 女子

母 後嵯峨院 宮内卿局 女子

母 兼教 少将

母 待従 経教

母 雅藤

母 教輔

母 教春

母 雅綱 右少将

母 教藤 或兼教子云 待従

飛鳥井 雅経 蹴鞠 和歌

母 大納言顕雅女 兼久三十薨 年五十五 右兵衛督 参議 従三位 実頼経 朝臣二男

母 阿闍梨 経豪 山

母 輔長

母 忠長 正四下 宮内卿

母 源忠 山 三會已講

母 城助義景妻 女子

母 忠継朝臣室 女子

母 教経

母 同教雅 教定 正三位 右兵衛督

雅経卿傳

治兼四十二従五下 同九年正五従五上簡 同二年正五正五下 建永元正六従四下 同四年正六従四上 同四年三廿八右兵衛督 兼久二十二十公参議

建久八十二五侍従 建仁元正廿九兼越前 元久二正廿九加賀 兼元二十二九左中将 建保二正五正四下 同六年正五従三位 同三年正十三兼美作権守 同六年正十三薨 年五十五

国立国会図書館 タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用

経有
甫任云母権大納言平経親卿女康永二年五月四日薨

雅宗
甫任云康永二年八月廿日薨

雅有
甫任云母故越後守平實時女正安二年十二月日薨年六十

雅孝
甫任云観應二年六月廿日出家法名妙恵文和二年五月十七日薨年七十四

雅家
甫任云至徳二年月日薨

雅清
甫任云應永廿九年二月十七日従三位同廿年三月廿日右衛門督同年月日改名雅世同廿二年正月廿日參議今日止督同廿三年正月六日正三位永享二年十二月廿日権中納言同九年十月廿六日従二位嘉吉元年七月八日正二位同月十日出家法名祐雅年五十二贈大納言

飛鳥井

雅有 本名雅名 母左少将定忠女
侍従 兵部卿 參議 正二位

忠輔 母
侍従

寺 阿闍梨
長智 母

雅顕 母實時女 弘安元卒
正五下 右中将

實基長子 左中将 正二位 権中納言

雅行 住関東
正五下 右少将

雅孝 母

教親 母

雅氏 母
雅有 母

経有 母 本名経孝又教親
右中将従三位

雅教 母
右兵衛督従三位

雅宗 母 本名雅光 改雅宗又還本名雅光
従三左兵衛督

雅冬 母
左中将

丹後守
定有 母 弘安九七廿五薨
雅朝 母

雅茂 母

侍従 従五上
基長 母

女子 母 為定卿母

為雅宗子相續
雅冬 母
女子 贈左大臣経有室 敷政門院御母儀

従三位 右兵衛督
雅家 母

雅俊 母 左中将 參議従二位 権中納言

應永五年三月廿日出家宋雅 正長元十一薨年七十一
雅縁 母

本名雅氏又雅幸又雅清後改雅世 正三位権中納言
雅清

中将 早世
雅藤

雅永

興雅 出家 浄空

女子 敬秀公室

花山卅八

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

雅親
甫任云文明五年十二月十
七日出家法名榮雅延德
二年十二月廿五日薨年七十四

雅康
甫任云文明十四年二月四
日出家法名宋世

雅俊
甫任云永正十七年三月
十六日下向周防國大永二
年四月十日於防州薨年
六十二法名時叡雅

雅綱
甫任云永祿六年八月
廿日落餝年七十五法名
高雅

権大納言為氏卿室
母 女子 為世卿母

正二位
権大納言
母 雅親 法名榮雅
佳栢木鄉
母 正三位 法名来世
権中納言 二樂軒
母 雅康
母 賴孝

正二位
権大納言
母 雅俊

従二位
権大納言
母綱光公女
雅綱

寺 法眼一身阿闍梨
覺實 圓滿院
號悉法眼
母右衛門佐平行親女

山 一身阿闍梨 日吉別當
仁源 大僧正 法性寺座主 號理智房
母 彈正少弼源則成女 天台座主 又宇治
天仁二年三月九日入滅年五十二

興 大僧正法務
覺信 興福寺別當
母 一乘院本願
賴信僧正資
保安二年二月八日入滅年五十七

金剛勝院執行
法印 嘉祥寺別當
德大寺別當
仁 阿闍梨
母 貞實
母同家忠
仁 靜意

興 法眼歸惡法眼
澄真
母右大辨平定親女

仁 法眼
母 覺曉

寺 僧正法務 牛車
增智 增譽僧正入室
號宇治
母同

寺
母 靜雲 阿闍梨

仁
母 覺真 阿闍梨

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

行玄
天台座主記玄母右大臣
師房公女 久壽二年十月
五日入滅年五十九

雅春
甫任云母正三位丹波
親康卿女文祿三年
正月十二日薨年七十五
法名了雅

雅敦
甫任云天正六年八月七
日薨年廿一法名継或
隆雅

賢子
女院小傳云母右大臣顯房
公第一女中宮藤賢子
京極関白養女

法務 大僧正
山 天台座主第卅八
理智房
青蓮院

行玄 本名良實
母安藝守忠俊女
寛慶勝豪等資

覺澄 號安居院
覺雲 大僧正 興福寺別當
一乘院覺信僧正資
母法橋賴圓女

時慶 西洞院相續
子孫見彼流

喜雲 興福寺別當
一乘院覺信僧正資
號中僧正

宗意 興法務大僧正

雅春 正二位
權大納言
元雅敦
母

尋覺 本名弘一
イ一範 大乘院禪定院内山
母同行玄

雅敦 從三位參議

雅良 號藤江

寺 法印
仁澄 東南院
母顯房公女四條宮女房

宗禎 駿河之修善寺之為住寺
後號二ト

寺 法印權大僧都
永實 一身阿闍梨
母 號宇治法印

女子

宗房 松本相續
最勝院八幡
橋本
專修寺
一身田

龍雲 相國寺之住僧
還俗後號
琴材

女子

母 女子 萬子

白川院妃堀川院母右

中宮 女子 賢子
母權中納言隆俊女イ
應德元九廿二崩廿八

遠山
叡恳院
號水本
松橋

重茂
高島田中養子

女子 佛光寺為妻

女子 嫁朽木河内守母

女子 嫁山城掃

女子 嫁十川

女子 號桃

国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26
ガラス使用

雅庸
甫任云本名雅継又雅枝
元和元年十二月十六日権大
納言同廿二日薨年四十七法
名尊雅

雅賢
知譜拙記云寛永三年閏四
月六日卒於配所年四十三

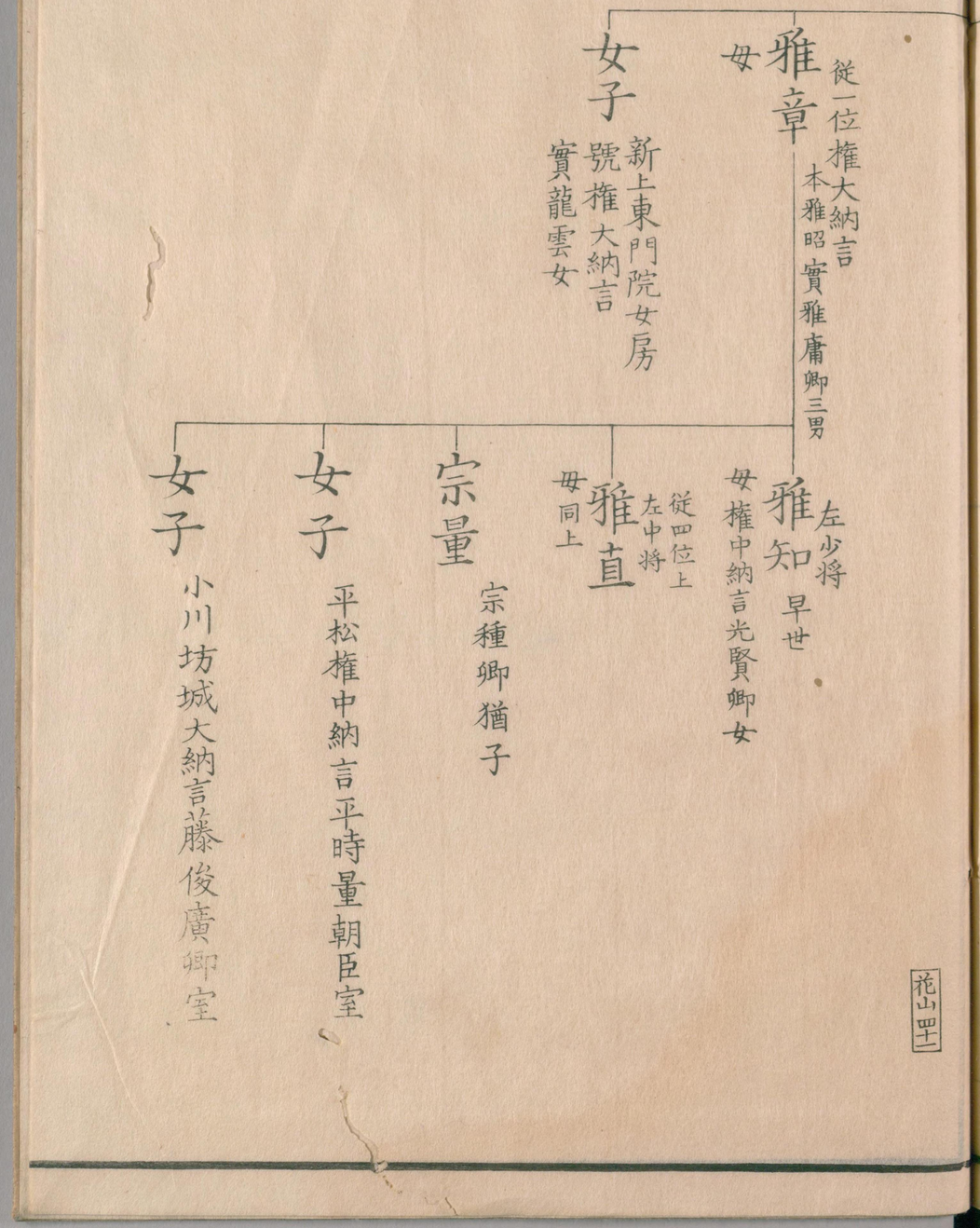
雅宣
甫任云寛永五年二月十日
叙正三位干時雅宣云云
慶安四年三月十六日従一位
同廿一日薨年六十六

宗種
甫任云寛永十七年正月五
日叙従三位正保二年十月廿
五日任参議慶安元年十二
月廿三日辞同五年十月従二
位兼應三年四月七日権中納
言萬治二年二月十四日薨年
五十

雅章
知譜拙記云延寶七年十月
十二日薨年六十九

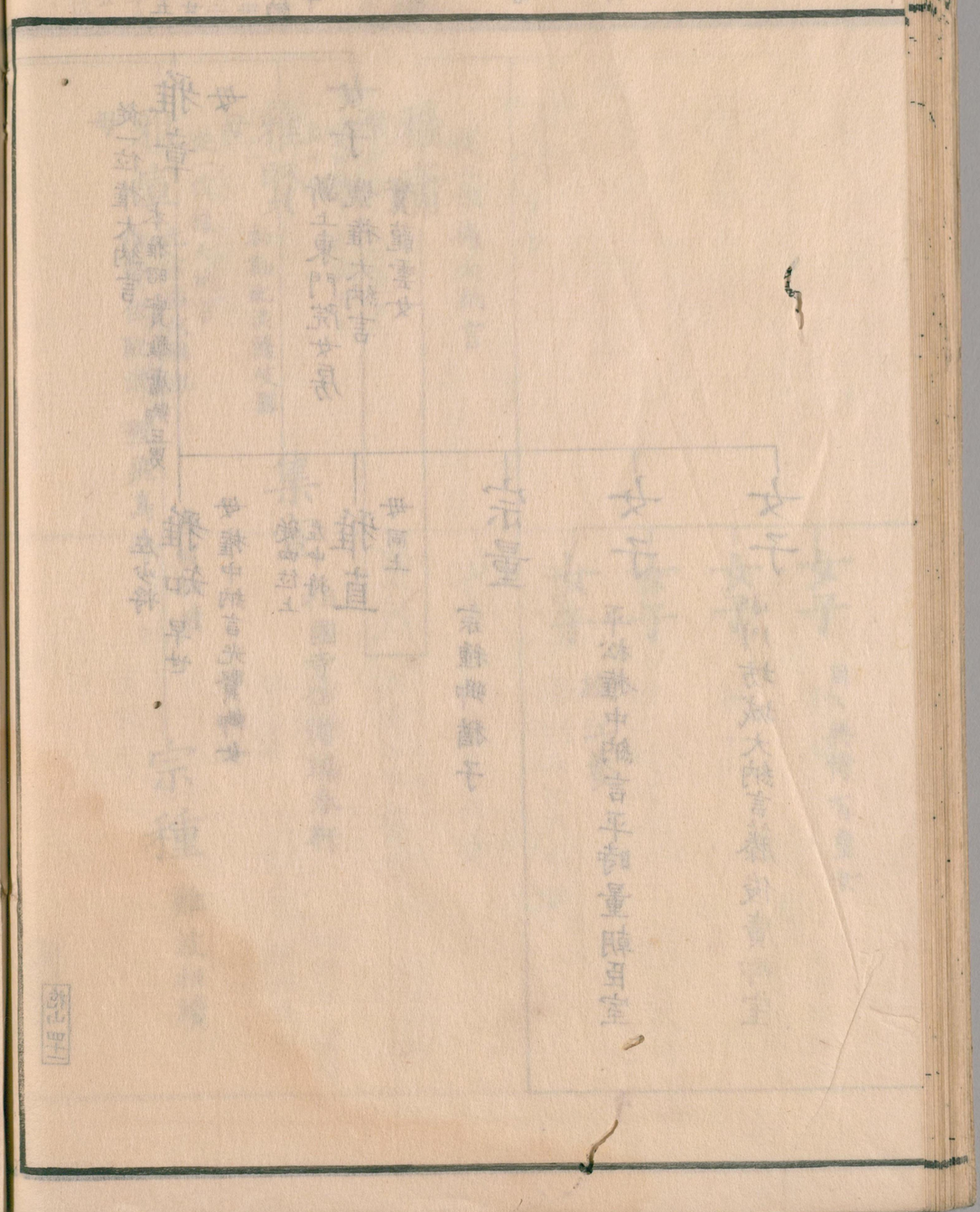
雅知
知譜拙記云正保二年七月廿
二日卒年十六

雅直
知譜拙記云寛文二年九月
九日卒年廿八



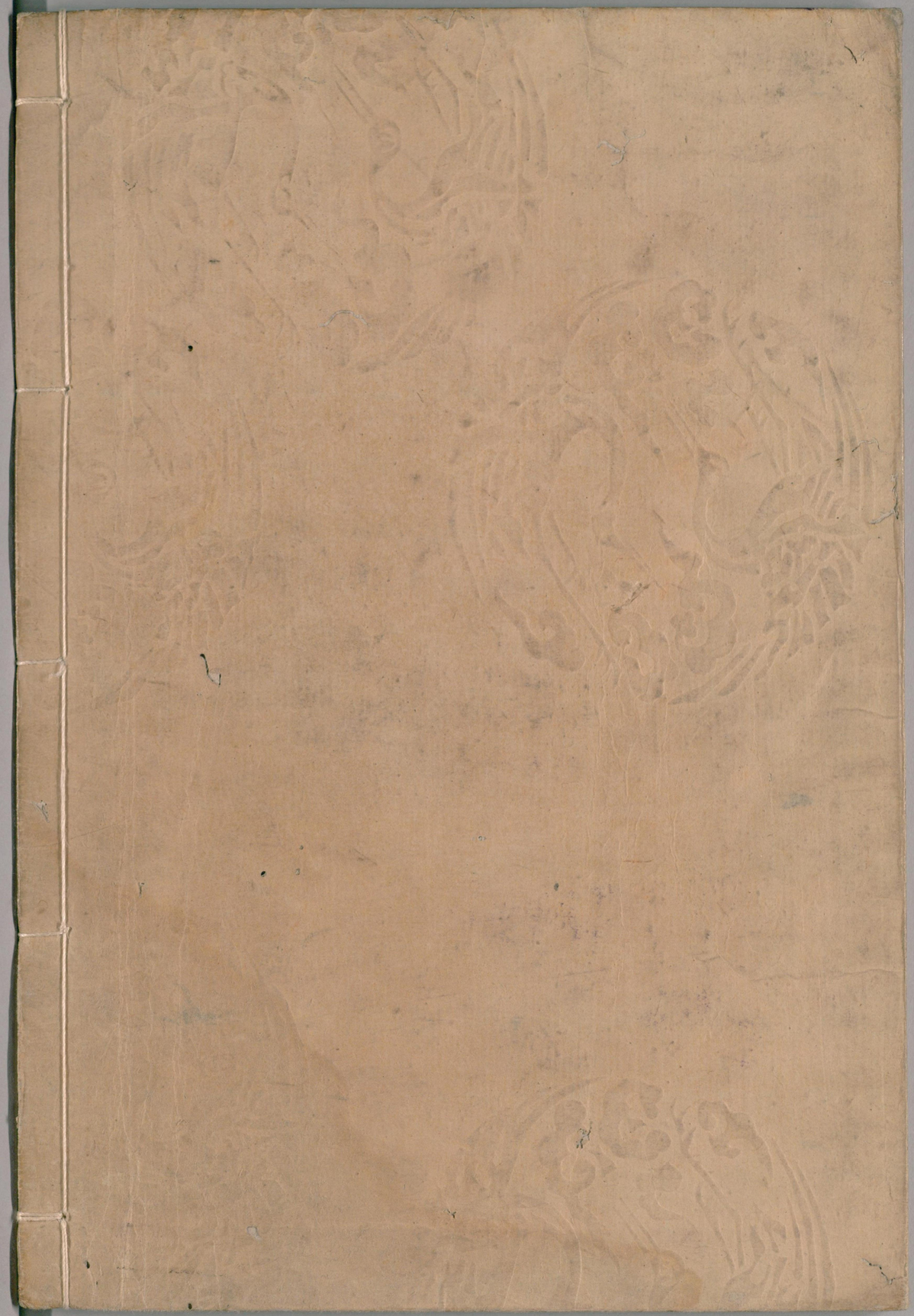
国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26
ガラス使用

839
3
26



国立国会図書館　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』 請求記号 839-26

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『編纂本朝尊卑分脈図脱漏 3巻』　請求記号 839-26

ガラス使用